

第6次熊野町行政改革大綱実施計画 取組状況報告（令和5年度分）

第6次熊野町総合計画「第4章 基本計画」第6節に定める具体的施策を基礎とし、個別に取組項目を設定したものについて積極的に取り組んだ。

1 取組項目の進捗状況

第6次熊野町行政改革大綱に基づく個別取組項目：全64項目

- 基本施策1【町民参画の推進】・・・8項目
- 基本施策2【効率的・効果的な行財政運営の推進】・・・36項目
- 基本施策3【スマート自治体への体制整備】・・・12項目
- 基本施策4【広域連携の推進】・・・8項目

全64項目の取組中、53項目については令和5年度の目標を達成、または目標以上の取組実績

令和5年度目標値に対する達成率

・・・82.8%

基本施策	具体的施策と取組項目	特記
1 町民参画の推進	(1) 自治意識の高揚 (2) 住民自治活動の支援 ①行政協力員会議の開催 ②職員の地域活動への積極的な参加の推進 (3) 地域協働の推進 ③観光まちづくりにつながるシビックプライドの育成 ④対話型行政の推進 ⑤まちづくり協働事業の推進 (4) 政策形成過程への町民参画の推進 ⑥審議会等における町民の参画推進 ⑦パブリックコメントの実施 (5) 町民参画による事業の推進 ⑧選挙に対する意識啓発	【目標値超え】：2 ⑤まちづくり協働事業の推進 R05 目標値：5件→実績：7件 ⑦パブリックコメントの実施 R05 目標値（累計）：3件→実績：5件 【目標値未滿】：1 ③観光まちづくりにつながるシビックプライドの育成 R05 目標値：80%→実績：40% 〈実績内容〉 新施設のオープンに向け、町民が自ら町の魅力を継続的に創出する機運を高めるため、熊野町新名物アイデアコンテストを実施し、町民等から 900 を超えるアイデアが集まり、5 事業所が試作品を製作した。 〈次年度に向けた方針〉 町を主体とした事業から、町民・事業所を主体とした事業に移行するため、補助金制度を創設する。また、筆の里振興事業団・大学・県観光連盟などと連携し、熊野みらい LABO の活動を拡大していく。
2 効率的・効果的な行財政運営の推進	(1) 持続性を高める行財政運営 ① 町税の収納対策の推進 ② 納税方法の利便性の向上 ③ 保育料の収納率の向上 ④ 住宅使用料等の収納対策の推進 ⑤ 国民健康保険税の収納対策の推進 ⑥ 後期高齢者医療の収納率の向上 ⑦ 介護保険料収納率の維持 ⑧ 下水道受益者負担金の収納率の向上 ⑨ 水道料金及び下水道使用料の収納率の向上 ⑩ 企業誘致の促進 ⑪ 課税客体の適正な把握 ⑫ 土地利用計画書の作成 ⑬ 地球温暖化計画の実施、定期的な見直し、電力料デマンド管理の実施 ⑭ 総合計画と財政計画を連動した予算編成システムの構築の推進 ⑮ マネジメントサイクルに基づく事業の改善・見直し (2) 健全な財政運営 ⑫ 土地利用計画書の作成（再掲） ⑮ マネジメントサイクルに基づく事業の改善・見直し（再掲） ⑯ 事業の総点検 ⑰ 旅費の見直し（特別旅費の実費制、オンライン研修・会議への積極的参加による旅費の削減）	【目標値超え】：9 ①町税の収納対策の推進 年間差押 R05 目標値：50 件以上→実績：173 件 収納率 R05 目標値：96.10%→実績：97.38% ④住宅使用料等の収納対策の推進 収納率 R05 目標値：97.70%→実績：98.34% ⑤国民健康保険税の収納対策の推進 収納率 R05 目標値：83.80%→実績：85.49% ⑦介護保険料収納率の維持 収納率 R05 目標値：99.48%→実績：99.63% ⑧下水道受益者負担金の収納率の向上 収納率 R05 目標値：96.36%→実績：99.29% ⑨水道料金及び下水道使用料の収納率の向上 収納率 R05 目標値：97.43%→実績：99.20% ※下水道部分のみ ⑩企業誘致の促進 首都圏からの転入者の起業・テレワークに対する補助金制度を制定。実績：1 件

	⑮ わかりやすい財政情報の提供 ⑯ 継続的な事業の点検・見直し ⑳ 財務書類のマネジメント・ツールとして予算編成や公共施設の適正管理に反映 ㉑ 適正な契約方式の採用と工事・業務等の品質を確保 ㉒ 補助金等の整理・合理化 ㉓ 職員数適正化の推進（第5次定員適正化計画） ㉔ 指定管理者制度の継続 ㉕ 公共施設等の適正管理 ㉖ 適正な受益者負担の設定 ㉗ 公用車の適正配置・稼働率の向上 ㉘ コスト意識と創意工夫による節減の意識改革 ㉙ 公共工事のコスト縮減の推進 ㉚ 上下水道料金の適正化 ㉛ 経営戦略の見直し及び次期経営戦略の策定 (3) 適切な人材の配置と育成 ㉜ 職員数適正化の推進（第5次定員適正化計画）（再掲） ㉝ 適切な休暇取得の推進 ㉞ 職員の意向調査等を基礎資料とした効果的・効率的な組織の構築 ㉟ 人事考課制度の適切な運営 ㊱ 計画的・総合的な人材育成 ㊲ 全庁的な事務処理効率化の推進（職員提案制度）	⑫土地利用計画書の作成 R05 目標値：60%→実績：80% 未利用町有地の売却公募 1 件実施 ③経営戦略の見直し及び次期経営戦略の策定 令和 5 年 3 月に改定した経営戦略に基づき、収入が支出を上回る健全な下水道事業の運営を実施 【目標値未満】：8 ②納税方法の利便性の向上 R05 目標値：73.50%→実績：71.28% 〈実績内容〉 口座振替利用率及びコンビニ等利用率が R04 年度と比較し1%程度低下しているが、R05 年度から開始した共通納税（eLTAX）を含めた場合 82.18%となり、納付書払以外の収納率は向上している。 〈次年度に向けた方針〉 口座振替利用率の維持向上を図る ③保育料の収納率の向上 収納率 R05 目標値：98.82%→実績：97.88% 〈実績内容〉 毎月催告を実施し、滞納整理を行ったが、高額滞納者の増により全体の収納率が低下した。 〈次年度に向けた方針〉 引き続き、催告を毎月実施し、滞納分の滞納整理を行う。 ⑥後期高齢者医療の収納率の向上 収納率 R05 目標値：99.65%→実績：99.64% 〈実績内容〉 滞納者に対し定期的に催告書の送付を実施。また個別での納付相談や納付約束を取り付ける等の滞納整理業務を実施したが、高額保険料の滞納が増えたため、収納率が低下した。 〈次年度に向けた方針〉 引き続き、定期的に催告書の送付を実施しつつ、個別で滞納者への電話催告、訪問などの滞納整理業務を実施する。 ⑭総合計画と財政計画を連動した予算編成システムの構築の推進 R05 目標値：18 万円→実績：20 万円 〈実績内容〉 災害予防に係る地方債発行により、起債残高は微減にとどまった。 〈次年度に向けた方針〉 今後は筆の里工房周辺整備事業に係る地方債の発行を多く予定しており、増加となる予定であるため、今後の執行に注視し計画的な財政運営を行う。 ⑰旅費の見直し（特別旅費の実費制、オンライン研修・会議への積極的参加による旅費の削減） R05 目標値：80%→実績：50% 〈実績内容〉 特別旅費の支給に関しては検討中 〈次年度に向けた方針〉 特別旅費の支給方法について継続して情報収集・検討を行う。 ⑳適正な契約方式の採用と、工事・業務等の品質を確保 〈実績内容〉 電子入札の運用に向けて制度の整備を実施
--	--	--

		〈次年度に向けた方針〉 多様な入札契約方式の活用と電子入札システムの積極的な運用を図る。 ②③職員数適正化の推進（第5次定員適正化計画） R05 目標値：165人→実績：153人 〈実績内容〉 計画に応じた採用を行ったが、予定外の退職者により計画値を下回る職員数となった。 〈次年度に向けた方針〉 定年退職（再任用）、休職や派遣者を考慮した職員採用を検討する。 ③②適切な休暇取得の推進 R05 目標値：13日→実績：12.4日 〈実績内容〉 週休日等を組み合わせた有給休暇の取得の勧奨を行った。 〈次年度に向けた方針〉 職員が休暇を取得しやすい環境の整備について検討する
3 スマート自治体への体制整備	(1) スマート自治体の推進 ① 行政手続きオンライン化 ② 窓口チェックシートの定期的な見直し ③ 窓口アンケートの実施 ④ 基幹系情報システム標準化・共通化 ⑤ テレワーク等の推進 ⑥ 文書保存箱の削減 ⑦ ペーパーレス化の推進 ⑧ オープンデータ化の強化 ⑨ 庁内ネットワーク・システムの最適化 (2) 情報化社会に対応した広報・広聴の推進 ⑩ 行政が保有する情報の適切な管理・公開と発信 ⑪ 政策的な意見・提案の受け入れ ⑫ 行政情報の積極的な提供 ○ パブリックコメントの実施（1-(4)-⑦再掲）	【目標値超え】：1 ⑫行政情報の積極的な提供 R05 目標：900件→実績：4,443件 【目標値未滿】：2 ③窓口アンケートの実施 R05 目標値：30%→実績：20% 〈実績内容〉 アンケートの内容検討に留まり改善実施に至らなかった。 〈次年度に向けた方針〉 マイナンバーカードの利用によるコンビニでの証明書等交付も増加状況にある中、このような状況を踏まえた、アンケート内容を検討し、実施する。 ⑥文書保存箱の削減 R05 目標値：320箱→実績：343箱 〈実績内容〉 廃棄数より保存数が上回った。電子媒体の取扱いについても方向性を提示した。 〈次年度に向けた方針〉 保存箱数は減少傾向にあるため引き続き、保存・廃棄の基準について職員に周知する。
4 広域連携の推進	(1) 広域事業の推進 ① 広域連携の推進 ② 適切な廃棄物処理 ③ 収納率の向上（後期高齢） ④ 消防力・救急体制の強化 ⑤ 地方分権の推進 ⑥ 友好都市協定に基づく連携 ⑦ 豊島区との連携 (2) 国・県との連携強化 ⑧ 県との職員交流（相互派遣等）の継続	【目標値超え】：1 ①広域連携の推進 R05 目標：61事業→実績：73事業 【目標値未滿】：0

2 今後の方針

- 計画どおりに進捗するよう、常に改善を意識して業務に取り組む。
- 目標の進捗を超えている項目は、これを維持し、更なる改革を図る。
 - 目標の進捗に至っていない項目は、次年度以後で目標値に達するよう事務・取組の改善を図る。